

学校教育目標	はつらつとして ~伸びる子 強い子 やさしい子~
育成を目指す資質・能力	自分の考えをまとめてノートに書く力 自分の考えを持ち、伝えあうことでさらに考えを深める力

	学力状況について	学習状況について
児童生徒の課題	各種学力調査の分析結果から明らかになった課題 1各種学力調査の分析結果から明らかになった課題 ・各学年の単元テスト正答率60%以下は、1年生国・算0人 2年生国3人算2人 3年生国・算・理2人 4年生国8人算4人理4人 5年生国・算0人理1人 6年生国・算8人理1人という結果だった。 2授業改善の検証指標に照らし合わせて評価した状況 ・「一人一人が自ら思考した結果をノートに記述し、それをもとにペア・グループ活動などの交流の場を設定する授業を1日1回以上実施する」が79%にとどまっている。	各種学力調査の分析結果から明らかになった課題 1各種学力調査の分析結果から明らかになった課題 ・単元テストの結果から国語では漢字・話す・聞く、算数では思考・判断・表現の正答率が下がる傾向にある。 2授業改善の検証指標に照らし合わせて評価した状況 ・話し合い活動ができていく状況があるが、自分の考えをもつような仕組みを授業に位置付けられていない実態がある。
指導の状況	1 組織的な授業改善の取組状況 ・一人一人が自ら思考した結果をノートに記述し、それをもとに立場の違いを明確にした話し合い授業が成立する授業を1日1回以上の実施。教師アンケート76%→79% 2 その他の学力向上に向けた指導の取組状況 ・一人一人が自ら思考した結果をノートに記述し、それをもとに立場の違いを明確にした話し合い授業が成立する授業を1日1回以上の実施。教師アンケート76%→79% ・家庭との連携による家庭学習の確保(10分×学年+10分)保護者アンケート82%→86%(達成) ・学習規律を守らせて授業に取り組んでいる教師アンケート89%→95%(増加)	

学力に関する達成指標

- 授業改善を進め、一人一人が自ら思考した結果をノートに記述し、それを基に、ペア・グループ活動などの交流の場を設定する授業を1日1回以上(100%)実施
- 下位層児童への個別の目標の設定(スモールステップ)
- 個別指導や補充学習を行い、単元テスト結果の向上(下位層5%以下)
- 図書室を活用し、調べ学習や読書活動を充実させ、読書の習慣化を図る(低120冊 中80冊 高50冊以上達成90%以上)

